

いりょうの ひろば

Vol. 238 2019.5.25



- 1面 高槻病院
総合救急医療センター
発足
- 2面 総合救急医療センター
新任のご挨拶
- 3面 地域医療連携「村上医院」
- 4面 新任ドクターご挨拶

総合救急医療センター

小児救命救急センター

急性期外科

救急総合診療科

本年4月1日より高槻病院総合救急医療センター長を拝命いたしました秋元 寛でございます。本年3月までは大阪府三島救命救急センターに通算25年半在職し、高度救急、重症外傷を中心に入院救急に従事して参りました。2007年から10年間は救命救急センター所長として三島地域の救急医療のMedical directorの役割も果たして参りました。この間、東日本大震災、熊本地震、そして昨年の大阪北部地震など多くの災害にも災害拠点病院として取り

高槻病院 総合救急医療センター 発足しました！

組んで参りました。

高槻病院救急センターは現在すでに年間7000台を越える救急搬送患者を受け入れるなど、地域の救急医療の中核病院として重要な役割を果たしています。当院は、昨年11月に小児救命救急センターの認定を受けるなど、更なる救急機能を有するようになったことを機会に、成人救急においても今まで充実した救急医療を提供できるよう体制を整えることにいたしました。すなわち、小児救命救急センター、従来の救急総合診療科に、外傷など外科系の救急を担当する「急性期外科」を新たに加え、これらの3本柱を軸とした「総合救急医療センター」(図1)を立ち上げ、いかなる救急にも対応できる救急センターを目指すこととなりました。そのため私の救命救急センターでの多くの貴重な経験が役に立つなら本望でございます。「小児から高齢者まで、軽症から重症まで」「すべての救急患者に最良の医療を(Best for All Patient)」を合言葉に地域救急医療に貢献したいと考えております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

▲図1 高槻病院 総合救急医療センター

高槻病院総合救急医療センター
を含め地域救急医療に貢献したいと考えております。



▲総合救急医療センター集合写真



総合救急医療センター長
急性期外科主任部長

秋元 寛
あきもと ひろし
日本外科学会専門医・指導医、
日本救急医学会専門医・指導医、
日本外傷学会専門医、
日本Acute Care Surgery学会認定医



総合救急医療センター

新任のご挨拶



救急総合診療科 副院長
稻本 真也 (いなもと しんや)

はじめまして。今年度から高槻病院の救急総合診療科に赴任しました、稻本真也と申します。

私自身は総合内科専門医です。循環器や感染症などの専門医でもあります、目標は分野にこだわらない全人医療です。

現代の内科学は「内科医」という言葉をあまり聞かなくなるほど高度に専門分化が進み、治療に大きな成果をあげてきました。しかし患者さんが初めて救急の門をくぐる時は診断がついているわけではありません。辛い症状を抱えつつ、何の病気なのかもわからず、これからどうなるのか大きな不安があると思います。我々のミッションは、救急外来に来られる幅広い患者さんを対象に、迅速かつ適切に十分な医療を提供することです。自身の経験から、広い視点を持って救急外来に来られる患者さんのお力になりたいと考えています。

今年度から高槻病院の救急外来は総合救急医療センターとして新たなスタートを切りました。救急総合診療科はセンターの内科部門として、急性期外科、小児救命救急センターと共にその一翼を担います。私が患者さんと初めにお会いするのは、救急外来という皆さんにとっては嬉しくない場所になることが多いと思いますが、あって安心、来てよかったと思っていただける救急医療を目指してさらなる努力を積んでいく所存です。これからよろしくお願いします。



急性期外科 医長 橘高 弘忠 (きったか ひろただ)

今年度より高槻病院へ入職致しました、急性期外科の橘高弘忠と申します。簡単ではありますが、この場をお借りして自己紹介をさせて頂きます。生まれは広島県福山市で、当時は毎年Bクラスの暗黒期広島カープを観て育った大の鯉党であります。平成15年に鳥取大学医学部を卒業し、同大学第一外科(消化器外科)に入局後は大学病院・関連施設で外科の研鑽を積んだ後、学生時代からの目標であった、外傷治療ができる救急医を目指し、平成20年から大阪府三島救命救急センターへ移り、3次救急医療に携わってきました。そこでは、重症体幹部外傷、腸管壊死や消化管穿孔などによる重症敗血症、ショックを伴う消化管出血などに対する初期治療、手術、IVR、内視鏡治療、集中治療管理を主に担当しました。その後、大阪府立成人病センター肝胆膵外科グループで外科の再習練を積み、兵庫県災害医療センターではドクター・防災ヘリによる病院前救急診療をはじめとする救急医療を行ってきました。

高槻病院では総合救急医療センターにおける外傷診療の量と質の向上を目標として“小さなことからコツコツと”の精神で診療させて頂いています。まだまだ慣れない事が多く、御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、各科の先生方、コメディカルの方と連携しながら地域医療に貢献したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



地域医療連携

開放型登録医紹介

村上医院

村上 詩郎 院長 村上 晴郎 副院長

地域の皆さんに寄り添った診療を心掛けて



私は末っ子で、医師を志す兄を見て育つたので自然と医療の道へ進みました。

昭和40年代、昭和大学医学部を卒業後、兄から当時まだ個人病院が少なかつたこの高槻に「気軽に通える入院施設のある病院を作りたい」と声がかかったので、大阪医科大学の医局に入局し、兄が開院した病院でも診療する毎日を過ごしていました。そんな中、大きな病院と違い、患者さんとコミュニケーションを取りながら距離を縮められる個人病院に魅力を感じ、入院施設を閉鎖することになった昭和62年、私自身で村上外科を開院致しました。



【晴郎先生】
私も医師である父の背中を見て育つたので、自然と医療の道へ進みました。近畿大学医学部を卒業後大学病院、関連病院で勤務していましたが、少し前に父が体調を崩したときに「もし突然父が入院することになったとき、かかりつけの患者さんたちはどうなるのだろうか」と思い始め、父が元気なうちに一緒に地域の皆さんに安心できる医療を届け

を卒業後、兄から当時まだ個人病院が少なかつたこの高槻に「気軽に通える入院施設のある病院を作りたい」と声がかかったので、大阪医科大学の医局に入局し、兄が開院した病院でも診療する毎日を過ごしていました。そんな中、大きな病院と違い、患者さんとコミュニケーションを取りながら距離を縮められる個人病院に魅力を感じ、入院施設を閉鎖することになった昭和62年、私自身で村上外科を開院致しました。

私は末っ子で、医師を志す兄を見て育つたので自然と医療の道へ進みました。

●開院の経緯

昭和40年代、昭和大学医学部を卒業後、兄から当時まだ個人病院が少なかつたこの高槻に「気軽に通える入院施設のある病院を作りたい」と声がかかったので、大阪医科大学の医局に入局し、兄が開院した病院でも診療する毎日を過ごしていました。そんな中、大きな病院と違い、患者さんとコミュニケーションを取りながら距離を縮められる個人病院に魅力を感じ、入院施設を閉鎖することになった昭和62年、私自身で村上外科を開院致しました。

●専門分野

【詩郎先生】(外科・整形外科・皮膚科)

個人病院では胸部外科と婦人科を専攻する兄たちの役に立つために麻酔科を選択したので専門は麻酔科ではありますが、元は胸部外科を専攻していました。外

科・整形外科・皮膚科を標榜しており、創傷治療といった外科診療に加えて、温熱療法やけん引療法等、整形外科疾患の保存的治療も行っています。

外科的な治療を目的に来院された患者さんでも、お話を聞き、診察すると内科的な疾患が影響していることもあります。そういうたびに外科医では判断できないこともありますが、当院は外科系と内科系の2診体制で行っているので、すぐに内科医に診察してもらうことができます。患者さんひとりひとりに丁寧に病状を説明してくれるので、不安を残すことなく安心して帰宅されています。

●高槻病院への要望
詩郎先生、晴郎先生、お忙しい中快くインタビューを受けていただきありがとうございました。受付から奥に進むとすぐにリハビリテーションルームと外科医である詩郎先生の診察室があります。ケガをされた患者さんはすぐに処置できるよう動線を考えておられたり、患者さんとのお話を大事にされていることから日々寄り添った診療を心掛けておられることが伝わってきました。私たちも先生方の診療に役立てるよう、連携の充実に努力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

たいと思うようになりました。全面改装を経て、平成30年5月より村上外科改め、村上医院として父と一緒に診療することとなりました。

科の疾患は合併症が多いため、膠原病の専門医や総合内科の専門医を取得しました。一般内科の診療で得た経験を活かし、血液内科だけでなく、風邪や胃腸炎等の急性疾患から、糖尿病、高血圧等の慢性疾患まで、幅広く対応しています。

【晴郎先生】(内科・血液内科・膠原病内科・総合内科)
専門は血液内科です。当初は父と同じ外科医を志望していましたが、血液内科の疾患(悪性リンパ腫や白血病等)は治療を進めるに

あたって外科で手術することなく、主治医として患者さんと向き合えることに魅力を感じ、血液内科を選択しました。血液内科の疾患は合併症が多いため、膠原病の専門医や総合内科の専門医を取得しました。一般内科の診療で得た経験を活かし、血液内科だけでなく、風邪や胃腸炎等の急性疾患から、糖尿病、高血圧等の慢性疾患まで、幅広く対応しています。

INFORMATION



内科・外科
総合内科
膠原病内科
血液内科

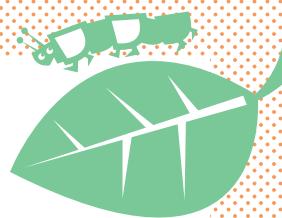
村上医院

〒569-0077 大阪府高槻市野見町2-56

TEL.072-675-1901

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	×	○	○
17:30~19:30	○	○	○	×	○	×

休診日/木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日



新任ドクター



精神科・心理室 主任部長
杉林 稔 すぎばやし みのる

みなさま、ご無沙汰しております。長年、高槻病院精神科で仕事をしてきましたが、2年前から、愛仁会総合健康センターに所長として赴任しておりました。この間、地域のみなさまの健康診断、人間ドックなどに携わり、大変多くのことを学ばさせていただきました。この度、ふたたび高槻病院精神科にカムバックいたします。急性期総合病院における精神科の役割をよく考えて活動していきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科 部長
上領 博 かみりょう ひろし

このたび、高槻病院呼吸器内科に勤務することとなりました上領博と申します。この春まで、神戸大学病院呼吸器内科に勤務しておりました。

咳嗽や喀痰、喘鳴、呼吸困難感などの呼吸器症状を伴うヒトもいれば、特に症状はないが健診で異常を指摘されて受診されるヒトもあります。

患者さんとそしてご家族と相談して、そのヒトに合った検査や治療を決めていければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科 医長
松寺 亮 まつてら りょう

この4月より循環器内科に赴任致しました松寺亮と申します。医師14年目にして今回が初めての異動であり多少緊張していましたが、温かなスタッフやコメディカルの皆様に支えられ、とてもいい環境で仕事をさせて頂いています。

私の専門はカテーテル治療であり、冠動脈だけでなく末梢血管の治療も対応可能です。循環器疾患は緊急性の高い疾患も多いため、どうぞ遠慮なくお気軽にご相談下さい。全力で対応致します！



小児外科 医長
久松 千恵子 ひさまつ ちえこ

4月から高槻病院に赴任しています小児外科の久松千恵子と申します。小児外科は新生児から時として成人までの幅広い年齢を対象に、様々な病気の外科治療を行っている科です。漠然としていますが、昨年小児外科を舞台としたドラマが放映されたこともあり少しづつ認知されるようになってきました。患者さんたちに寄り添い、皆さんのが成長していく姿を見るのを楽しみに日々診療にあたっています。どうぞよろしくお願いいたします。



脳神経外科 医長 **有田 英之** ありた ひでゆき

本年の1月1日付けで着任しました有田英之と申します。当院では脳腫瘍・血管障害を中心に診療にあたっています。脳外科疾患は、いずれの疾患も症状を起こした場合には日常生活に大きな影響を及ぼし、ご本人だけでなくご家族や周りの方の人生を左右します。一方で、最近は偶然見つかった無症候性の脳疾患に対する治療適応もしばしば問題になります。治療技術の向上をしていくだけでなく、患者さんの生活背景を踏まえた総合的な管理を心がけて皆様の診療にあたりたいと思います。

社会医療法人 愛仁会 高槻病院

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

- 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
- 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
- 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の諾否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

- 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
- 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
- すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるよう、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎ 072-683-1212
しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎ 072-681-5533
しんあいクリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番3号 ☎ 072-668-5000
愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号

訪問看護ステーション愛仁会高槻	☎ 072-686-1876
ケアプランセンター愛仁会高槻	☎ 072-686-1882
ケアプランセンターーケーアイ	☎ 072-687-2536
ケアプランセンター愛仁会富田	☎ 072-692-2941
しんあいケアプランセンター	☎ 072-680-3000
ヘルパーステーション愛仁会高槻	☎ 072-686-1875
ヘルパーステーション愛仁会富田	☎ 072-692-2941
介護老人保健施設ケーアイ	〒569-1051 高槻市大字原112番地	☎ 072-687-0103
介護老人保健施設しんあい	〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番1号	☎ 072-680-3000
愛仁会総合健康センター	〒569-1143 高槻市幸町4番3号	☎ 072-692-9291
愛仁会看護助産専門学校	〒569-1115 高槻市古曾部町1丁目3番33号	☎ 072-681-6031